

## 外国人にも日本人にも魅力的なまちに

小郡市在住の外国人が増えています。日本語学校が2つあり、交通のアクセスが良い小郡市は、外国人にとって魅力的なまちです。

そんな小郡市を誰にとってもより住みやすいまちにするために、市はさまざまなことに取り組んできました。

- 外国人にあいさつができていますか
- 小郡でのいろいろなルールが外国人に正しく伝わっていますか
- 地域行事に外国人も参加できていますか
- 災害時、外国人に正しく情報が伝わり、安全に避難できる体制がとれていますか



国際交流協会の松藤さん

### 市の取組

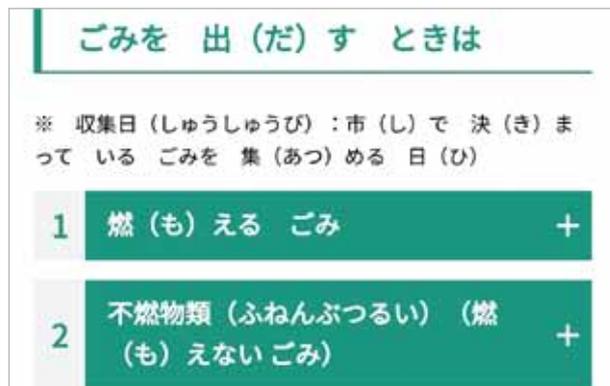
- 行政サービスなどの情報をまとめた「暮らしの便利帳～多文化共生ガイドブック」を4か国語(英語・韓国語・中国語・ネパール語)で作成



- 避難所の案内板を、日本語と外国語(英語・韓国語・中国語)で表記
- 世界の文化や料理を紹介する「国際理解講座」などの活動を支援

### PICKUP 市ホームページに「やさしい日本語」を使った特設ページを開設

「やさしい日本語」は、日本語が不慣れな外国人にも分かりやすいよう、小学2年生程度の表現・語彙(ごい)を使った日本語のことです。日本に住む外国人は、さまざまな母国語を持つ一方「やさしい日本語」をほぼ理解できるという調査結果があります。ぜひ「やさしい日本語」で外国人と交流してみましょう。



▲やさしい日本語を使った市ホームページ

### PICKUP おごおり日本語教室を開催

市は、外国人を対象に「おごおり日本語教室」を開催しています。受講生は、ベトナム、ネパール、フィリピンなどいろいろな国から来ています。多くは技能実習生で、昼間は事業所などで働き、日本語を今後に生かしたいと、参加しています。



▲受講生は随時募集しています。(緊急事態宣言期間中は休止しています)

## 互いに文化を認め合い、尊重し合い、助け合う

小郡市は今後も、日本人と外国人が互いの文化を理解し、受け入れ、ともに発展する「多文化共生のまちづくり」を進めていきます。その主人公になるのは、市民の皆さんです。市民の温かい気持ちを外国人に伝えてください。あいさつをして、地域行事と一緒に参加し、非常時には声を掛け合い、助け合う、そんな市民レベルの交流を進めましょう。

多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、お互いの文化的違いを認め合い、尊重し合い、助け合いながら、共に生きていくことです。